

社会貢献活動

**企業市民の立場から、幅広い社会貢献活動を通し、
地域社会の健全な発展に貢献。**

企業もまた市民の一人であるという
企業市民の立場に立ち
積極的な社会貢献活動を展開しています。



卓球部の活躍 ～地域の皆様に愛されるチーム作りを目指して～

当行卓球部は昭和55年創部以来、皆様の温かいご支援のもと地道な努力を重ね、今では日本のトップチームとして認められるまでになりました。



日本リーグホームマッチでは地域の卓球愛好家を対象としたミックスタブルス卓球大会を開催して参加された地域の皆様との交流を深めました。

「十六銀行地域社会貢献推進委員会」の活動

活動8年目を迎え、十六グループ会社役職員が一体となり、地域社会への積極的な貢献活動に取り組んでいます。平成20年4月には「十六銀行栗野グランドサッカー場」を整備し、岐阜県サッカー協会へ無償貸与を開始しました。また、毎年、「長良川を美しくしよう運動」等の清掃活動をはじめ、「岐阜県障害者スポーツ大会」、「集団献血」ならびに「地域のまつり」等々に参加しています。



財団法人十六地域振興財団の活動（奨学生の募集）

当行の創立130周年を記念して、若い世代の皆様が大きく羽ばたき、ご活躍いただけることを願い、新たに奨学金制度を創設し、経済的側面からご支援させていただくこととしました。平成20年度に大学に入学される新入生の皆様を対象に募集しました。



ひと循環型社会支援機構「くるる」の活動

「くるる」は、活動的なシニアを対象に多様なセミナー等を開催しています。企業を退職したシニアに、「生きがい発見の場」の提供を目的とするとともに、地域コミュニティ再生の拠点としての役割を担うべく取り組んでいます。扱うテーマは、シニアの皆様の関心が高い健康、パソコン、語学、郷土の歴史など多彩であり、セミナーには数多くの方に参加いただいております。



「てつめいギャラリー」のオープン

平成19年9月、地域開放型の文化施設「てつめいギャラリー」をオープンしました。本ギャラリーは、歴史的な建造物である当行の旧徹明支店を改修したもので、地元の皆様の文化活動の発表や交流の場としてご利用いただけます。本ギャラリーの開館にあわせ、当行の所蔵品による絵画展「岐阜県ゆかりの作家」展を開催しました。



一店舗一貢献運動について

当行の創立130周年を記念して、日頃のご支援に感謝の意を表すとともに、一層の地域密着・貢献が図れるよう、地域の環境美化に対する取り組みやイベントへの協力を当行の国内全店および本部にて「一店舗一貢献運動」として実施しました。

こうした取り組みを一過性に終わらせることなく今後も継続的に実施していくことで、地域のお役に立ちたいと考えております。



岐阜県と防災協定を締結

能登半島地震、新潟県中越沖地震の発生は甚大な被害と課題を私たちに残しました。そこで当行は、防災協力に関する協定を岐阜県と締結し、平常時の防災に関する県民の皆様に向けた各種意識啓発活動や、防災対策推進への支援活動等に取り組んでいくこととしました。また、当行の創立130周年を記念して、防災車両、VR災害体験シミュレータの寄贈も行っております。



地域の子ども達の新しい体験のお手伝い

地域の将来を担う子ども達に、社会で生きていくために必要な知識や能力を伝えることは今後の地域経済・社会の発展に向けて大変重要なことです。こうした考えに基づき地域の子ども達向けに企画・実施した体験イベントを紹介します。

■「サイエンスキッズアカデミー（中部学院・十六産学連携事業）」の開催（6月）

子ども達に、科学実験や科学の不思議体験を通じて「科学がより身近なもの」と感じてもらい、科学への夢の育成を目的として開催しました。



■「十六トレーディングチャレンジプログラム」の開催（8月）

経済や社会の仕組みを学べる体験学習であり、参加者は「国」に見立てたチームに分かれて、それぞれの国情に合わせて支給される資源を使い、生産、販売、物々交換、預金、さらには「他国」との交渉等様々な経済活動を体験していただきました。



■「ロボットキッズ大集合2（岐阜高専・十六産学連携事業）」の開催（8月）

ロボットとのふれあいを通じて子ども達に「ものづくりの楽しさ・必要性」を伝える機会を提供することを目的に開催しました。

「十六銀行創立130周年記念寄付講義」の開講について

創立130周年記念事業の一環で、大学の持つ情報、機能を企業との連携によって社会に還元する仕組みづくりを目的とした「十六銀行創立130周年記念寄付講義」を、名古屋大学教育学部との共同事業で実施しました。本講義は「教育学の立場から見た少子高齢社会日本の課題と可能性」のテーマのもと、平成19年10月から平成20年1月にかけて行われ（4ヶ月間全14回）、名古屋大学の大学院生・大学生の方に限らず、一般応募でお集まり頂いた数多くの社会人・地域の方にも幅広く受講して頂きました。

岐阜駅前広場に時計塔を寄贈

当行の創立130周年を記念して、現在、岐阜市において進められています駅前再開発事業への一助となるよう岐阜駅前広場に「時計塔」を寄贈することとし、平成20年3月には目録の贈呈を行いました。この時計塔は平成21年10月の岐阜駅前広場のオープンにあわせて完成する予定です。



地元高校の実践的ビジネス教育に講師派遣

時代にあわせた新しい教育の奨励に積極的に取り組んでいる地元の県立岐阜商業高等学校が文部科学省が進める「新時代に対応した高等学校教育改革推進事業」の研究指定を受けたことから、地域金融機関の代表としての当行へ金融教育の視点からの協力要請があり、高校生の皆様に向けた講義を実施しました。当行は地元金融機関として、今後とも金銭、金融教育を通じた地域の活性化に取り組んでまいります。

